

授業改善のポイント 第6学年

情報を収集し、吟味・解釈する力を付ける

問題文を読み、文章を書く目的や意図を読み取る。

問題文をよく読んで、「誰に」「何について」「何のために」伝える文章を書くことになっているのかをはっきりさせましょう。

資料ア 村上さんのお話

みなさんも、この公園を利用する一人として、若葉市にお願いする設備のユニバーサルデザインだけでなく、自分たちにもできる心のユニバーサルデザインについて考えてみてください。

資料から

三浦さん
平田さん

話合いの様子から

そう考えると、ぼくたちにもできる心のユニバーサルデザインはたくさんありそうですね。一人の利用者として考えていかなければならないことです。

では、わたしたちのグループは、設備のユニバーサルデザインも必要だけれど、心のユニバーサルデザインも必要であり、自分たちができることを考え、管理人の村上さんに伝えることにしましょう。

問いの文から

問い5 あなたは若葉中央公園のユニバーサルデザインについて、誰もが使いやすい公園にするために考えたことを管理人の村上さんに伝えることになりました。



誰もが使いやすい公園にするために、(何のために) わたしが考えた設備のユニバーサルデザインと心のユニバーサルデザインについて、(何について) 村上さんに (誰に) 伝える文章を書くんだね！

資料を吟味・解釈する。

目的に合った資料を選んだり、資料のどの部分が自分の意見を伝えるために使えるのかを考えたりする活動をしましょう。

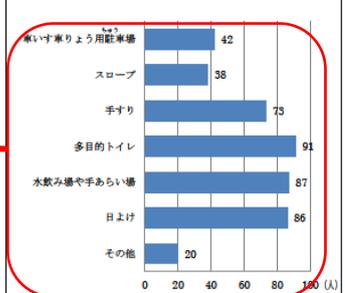
資料ウ、エは、施設のユニバーサルデザインについて書いてあります。資料ウはグラフを使って数値が書かれているので、それをもとに自分の考えを書くことができます。

資料オ、カ、キは取材メモです。施設のユニバーサルデザインだけでなく、「使う人のマナーがよくない」などの心のユニバーサルデザインについて書いてあります。それぞれの文章がどちらにあてはまるのか注意して読まなければなりません。

資料エ 他の大きな公園にあるユニバーサルデザイン

- 【車いす専用用駐車場】車いすを利用する人が乗りおろししやすいように少し広い駐車スペースがとってある。分かりやすいようにアスファルトに車いすのマークが書かれてあり、わきにはかんばがたててある。
- 【スロープ】段差をなくし、ゆるやかな坂をつくることで、車いす利用者やお年寄りの人たちが、ベビーカーを使用している人が楽に移動することができる。小さい子どもやけがをしている人も利用することができる。
- 【手すり】階段やスロープの両はしに設置することで、楽に上ったり下りたりすることができる。
- 【多目的トイレ】おむつ替え用ベッドや車いすが入る広いスペースがあり、手すりがついている。
- 【水飲み場や手あらい場】お年寄りや体の不自由な人たち、小さい子どもが使いやすいように、じゃ口の高さを低くしてある。
- 【日よけ】暑い夏には熱中症予防にもなる。お弁当を食べることができる。日よけの下で休むことができる。

資料ウ ユニバーサルデザインが必要だと思う設備 (2016年6月3日 公園利用者100人にアンケート複数回答可)



資料キ 取材メモ<小学生>

- 公園で迷子になったとき中学生が道を親切に教えてくれたので助かった。
- スロープの上に自転車が進んでいて、通ることができなかった。
- お弁当を食べる前に、手あらいをしたかったが手あらい場が遠くだった。
- 車いすの人がトイレに入る時、段差があり入り口もせまかったので、入れなくてこまっていた。

資料カ 取材メモ<お年寄り、体の不自由な方>

- 他の車が車いす専用用駐車場に止まっていたことができなかったことがある。
- 階段をのぼっている時、となりをいきおいよくかけあげた人がいてこわかった。
- スロープや階段に手すりが少ない。
- 多目的トイレが少ない。
- 公園に日かげがなく、ゆっくり休むことができない。

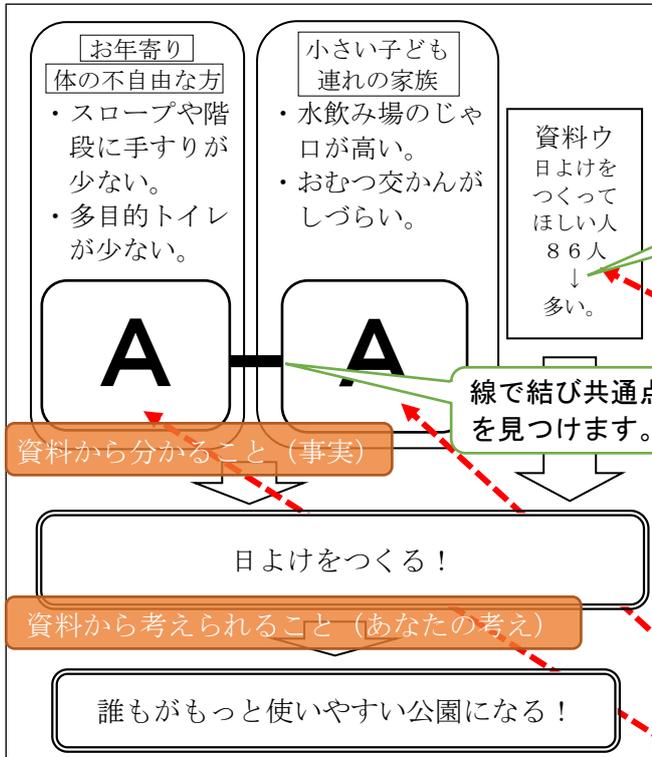
資料オ 取材メモ<小さい子ども連れの家族>

- 横一列に並んで歩いている人がいて、公園の通路を通ることができなかった。
- こまってきたときに声をかけても返事がなく、むしろ怒ったことがある。
- 水飲み場のじゃ口が高く、水を飲んだり手あらいしたりしづらい。
- トイレがせまくておむつ交換がしづらい。
- 子ども遊具広場に日かげがなく、休む場所がなくてこまっていた。

論理的に思考する力を付ける

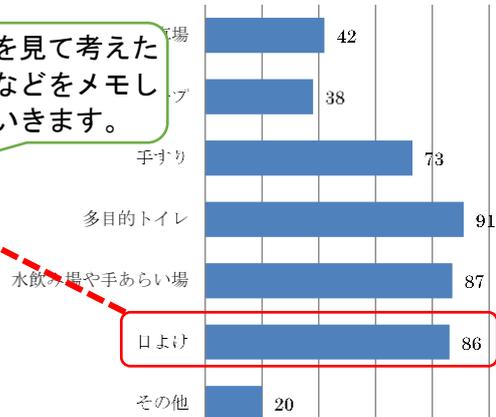
情報を整理し、自分の考えと結び付けていく。

思考ツールを使って、情報を整理・分類して、自分の考えと結び付けていく活動に取り組みましょう。



資料ウ ユニバーサルデザインが必要だと思う設備
(2016年6月3日 公園利用者100人にアンケート複数回答可)

数値を見て考えたことなどをメモしていきます。



資料カ

取材メモ<お年寄り、体の不自由な方>

- 階段をのぼっている時、となりをいきおいよくかけあがる人がいてこわかった。
- スロープや階段に手すりが少ない。
- 多目的トイレが少ない。
- 公園に日かげがなくて、ゆっくり休むことができない。

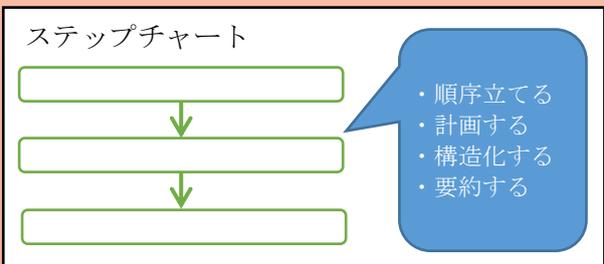
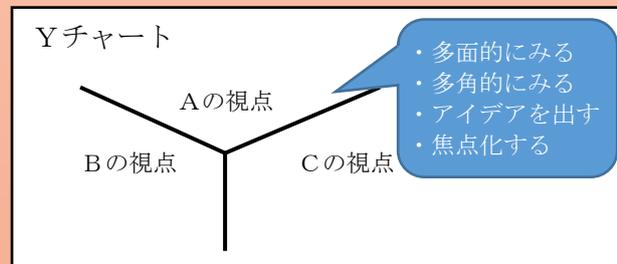
資料オ

取材メモ<小さい子ども連れの家族>

- 横一列に並んで歩いている人がいて、公園の通路を通ることができなかった。
- 水飲み場のじゃ口が高く、水を飲んだり手をあらったりしづらい。
- トイレがせまくておむつ交かんがしづらい。
- 子ども遊具広場に日かげがなく、休む場所がなくてこまった。

「資料ウ」、「資料カ」、「資料オ」の情報を、「矢印と囲み」を使って整理しています。「矢印と囲み」はとても簡単な思考ツールですが、情報を整理・分類したり、自分の考えと結び付けたりすることができます。日頃の授業でも使うことができます。その他にもさまざまな思考ツールがあります。目的に応じて使い分けることができるとよいですね。

思考ツールの例



マトリックス

	よい点	改善点
A班		
B班		
C班		

Callout box: 分類する (Classify), 整理する (Organize), 比較する (Compare), 多面的にみる (Look from multiple perspectives), 多角的にみる (Look from multiple angles).

その他、短冊カードや付箋なども思考ツールです。子どもたちがいつでも使えるように準備しておくことも必要です。

説得力のある文章を書く力を付ける

目的や意図に合った文の形を選ぶ。

意見文には「頭括型」「双括型」「尾括型」の三種類があります。構成を意識させて書かせましょう。

頭括型 冒頭部に総括する文章	双括型 冒頭部・終結部の双方で総括する文章	尾括型 終結部に総括する文章
主張 ↓ 説明・根拠	主張 ↓ 説明・根拠 ↓ 主張	話題提示や問い ↓ 説明・根拠 ↓ 主張

目的に応じて使い分けることが大切です。

六年生は15分で370字程度書くことが目安です。

双括型の構成で意見文を書くため、構成メモを使って段落を構成する。

「始め—中—終わり」の三部構成で、4段落で書きます。「中」の部分は資料を2つ選んで書くので、2つの段落に分けて書きます。

終わり (4段落)	中		始め (1段落)	【構成メモ】
	自分たちができるユニバーサルデザイン (3段落)	市に願うユニバーサルデザイン (2段落)		
<p>使いやすい公園になると考えます。</p> <p>このように、多目的トイレを作ったり私たちが困っている人に声をかけたりすることで、誰もが安心して</p>	<p>資料から分かること ・小さい子ども連れの人困ったときに声をかけてもむしされた。 資料から考えられ ↓ 安心して公園を利用できる。</p> <p>資料から分かること ・私たちが困っている人に積極的に声をかける。</p>	<p>二つ目は、私たちが困っている人に声をかけることです。</p> <p>選んだ資料の記号 資料から分かること ・多目的トイレを作れば、待つ時間もなく使え、多くの人が困らなくなる。 おむつ交換もしやすくなる。</p> <p>資料から考えられ ↓ 多目的トイレを作るとても多くいる人が 九十一パーセントでとても多くいる。</p>	<p>一つ目は、多目的トイレを作ることです。</p> <p>選んだ資料の記号 資料から分かること ・多目的トイレを作るとても多くいる人が 九十一パーセントでとても多くいる。</p> <p>資料から考えられ ↓ 多目的トイレを作るとても多くいる人が 九十一パーセントでとても多くいる。</p>	<p>わたしは、誰もが使いやすい公園にするために、二つのことを提案します。</p>

「始め」と「終わり」の意見を整合させることが大切です。

「選んだ資料」→「分かること」→「考えられること」に整合性があるか確認しましょう。

「中」の説明に説得力をもたせるために書き方を工夫する。

事実から分かることの書き方を工夫することで、中の説明に説得力を持たせることができます。



「選択した資料→その資料から分かる事実→事実から考えられる意見・判断」というつながりを意識して述べさせましょう。

一文目…接続詞やナンバリングで順序を表し、提案を述べます。

例 「まず、〇〇をします。」
「一つ目は、〇〇についてです。」
「最初に、〇〇を提案します。」



「中」の一つの段落に一貫性をもたせることで、より説得力のある意見になります。

二文目…選んだ資料と、資料から分かる事実を述べます。

例 「資料△から、〇〇ということが分かります。」
「資料△を見ると、〇〇とあります。」
「資料△で、〇〇されています。」



資料の体験談や知識、数値をもとにして、児童に考えさせることが大事になります。

三文目…事実から考えた意見を述べます。「始め」の主張と関連させましょう。

例 「〇〇ということは、〇〇だと考えることができます。」(推論)
「もし、〇〇すれば、〇〇になると思います。」(仮定)
「〇〇は多い(少ない)ので、〇〇する必要があると思います。」(分析)



例文

資料から考えられること <u>二重線部分</u>	資料から分かること <u>波線部分</u>	選択した資料 <u>□囲み</u>
<p>一つ目は、手あらい場のじゃぐちの高さを低くすることです。<u>資料オ</u>をみると、小さい子ともがじゃ口の位置が低いと使いやすいということが分かります。じゃ口が低いと水が飲みやすくてとてもよいです。僕たち子どもだけでなく、車いすを利用する人たちなど、他の人も使いやすいくなります。</p> <p>二つ目は、ぼくたちが公園内を歩くこととです。<u>資料カ</u>をみると、お年寄りが階段をのぼっているとき、となりをかけあがる人がいてこわかったとあります。まずはぼくたちが歩いてマナーを守り、お年寄りの人がこわがらず、けがをする心配がなく、安心して公園を利用できるようにしていきます。</p>	<p>一つ目は、手あらい場のじゃぐちの高さを低くすることです。<u>資料オ</u>をみると、小さい子ともがじゃ口の位置が低いと使いやすいということが分かります。じゃ口が低いと水が飲みやすくてとてもよいです。僕たち子どもだけでなく、車いすを利用する人たちなど、他の人も使いやすいくなります。</p>	<p>一つ目は、多目的トイレを作ることで、<u>資料ウ</u>をみると、整備が必要な設備では多目的トイレが九十一パーセントで、多くの人が作ってほしいと願っているのが分かります。<u>多目的トイレを作れば、待つ時間もなく使え、多くの人が困りません。また、小さいお子さん連れがおむつ交換しやすくなります。</u></p> <p>二つ目は、私たちがこまっている人に声をかけることです。<u>資料オ</u>をみると、小さい子とも連れの人がこまっていたときに声をかけても無視されたことがあることが分かります。<u>私たちが積極的にこまっている人に声をかけこまった人を助け、安心して公園に来ることができる人を増やします。</u></p>

最後にもう一度「始め」「終わり」の主張と中で述べた説明の整合性がとれているかどうか確かめましょう。これで説得力のある文章が書けるはずですよ。